

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名: ファインクール(原液)
会社名: 平和テクニカ株式会社
住所: 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-48-4
担当部門: ファインカット営業部
電話番号: 046-251-3755
FAX 番号: 046-255-5840
Mail アドレス: info@heiwa-tec.co.jp
緊急連絡先: 同上
受付日時: 月曜日～金曜日 9:00～17:00

作成年月日: 2016年11月21日
改訂年月日: 2023年7月1日
用途: 水溶性研削液

2. 危険有害性の要約

GHS分類:
引火性液体: 区分外
皮膚腐食性/刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分2A
皮膚感作性: 区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露): 区分3(気道刺激性)
上記で記載ないものは「分類できない」または「区分に該当しない」

GHSラベル要素:

シンボル:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 皮膚刺激
アレルギー性皮膚炎反応を起こすおそれ
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き:

- 【安全対策】 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。

取扱後はよく手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

屋外または、換気の良い場所でのみ使用すること。

- 【応急措置】 皮膚についた場合は多量の水と石鹼で洗うこと。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合は医師に相談すること。
 気分が悪い時は医師に相談すること。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
 飲み込んだ場合は口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 取り扱った後、手を洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

- 【保管】 直射日光は避け、火気・熱源・酸化剤から遠ざけて換気の良い場所で保管すること。
 容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

- 【廃棄】 使用済みの容器は他の用途に使用しないで、内容物／容器を規則に従って廃棄すること。

GHS分類による上記注意書きに記載がない場合でも、以降の情報を参考に安全対策/応急処置/保管廃棄/に
 関し十分な配慮を行うこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:	混合物
化学名又は一般名:	水溶性研削液
別名:	Water soluble grinding fluid
成分及び含有量:	有機系防錆剤 7.0%
	トリエタノールアミン 20.0%
	消泡剤 0.1%
	変色防止剤 0.5%
	水分 72.0%以上
化学特性(化学式):	特定できない
官報公示整理番号(化審法・安衛法):	無い
CAS No. :	無い
危険有害成分:	
化学物質管理促進法 第一種指定化学物質	非該当

第二種指定化学物質

非該当

労働安全衛生法 表示対象物質	トリエタノールアミン	20%	CAS番号 102-71-6
通知対象物質	トリエタノールアミン	20%	CAS番号 102-71-6

毒物劇物取締法 非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当を受ける。
 呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
- 皮膚(または髪)に付着した場合：
 直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼水で洗う。
 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯する。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
 その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合： 無理に吐かせず、医師の手当てを受ける。口腔が汚染されている場合は、水で十分洗う。
- 予想される急性症状及び遅発性症状、並びに最も重要な徴候及び症状：
 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。
 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡が有効である。
 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
- 使ってはならない消火剤：
 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
- 火災時の特定危険有害性：
 高温の金属表面等に接触したり、燃料管から漏洩した場合、発生した蒸気によって燃焼や爆発が起きる可能性がある。燃焼の際は、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。
- 特定の消火方法： 周囲の設備等に散水して冷却する。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護
 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身をまもること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具：

皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。

ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。

環境に対する注意事項：

土壌の汚染、水質汚濁に繋がるので、可能な限り回収する。

河川・下水道などに排出されないよう注意する。

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

周囲の着火源を取り除く。

少量の場合： 土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、更にウエス等で完全に拭き取る。

大量の場合： 盛土で囲って拡散防止をはかってから掃き集め空容器に回収後安全な場所にて処理する。
処理後は大量の水で洗いながす。この場合、濃厚排水が河川等の公共水路に流入しないに注意する。

二次災害の防止策：すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 油類が残存している機械設備などを修理する場合は、安全な場所において油類を完全に除去してから行うこと。静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性の物を使用する。石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため、換気および火気などへの注意が必要である。

常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意すること。

皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。

ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。

容器から取り出すときはポンプなどを使用すること。

細管を用いて口で吸い上げてはならない。

容器を溶接・加熱・穴あけまたは切断しないこと。爆発を伴って残留物が発火することがある。

局所排気装置： 全体換気：

8. ばく露防止及び保護措置を参照。

接触回避： 10. 安定性及び反応性を参照。

安全取扱注意事項：

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

使用する際は製品ラベルを参照し、希釈倍率を確認の上、水に希釈して使用する。

本品はエタノールアミンが含まれているので亜硝酸塩を含む防錆剤等と混同使用しないこと。

火気注意。

取扱後はよく手を洗うこと。

屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。

この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。

空容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂することがある。

飲まないこと。

子供の手の届かない所に置く。

衛生対策： 取扱後はよく手を洗うこと。
保護具は定期的に点検する。
作業中は飲食、喫煙はしない。

保管

安全な保管条件

技術的対策： 熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
容器は必ず密栓すること。

混触禁止物質： 10. 安定性及び反応性を参照。

保管条件： 換気の良い場所に保管する。
直射日光を避け保管する。
酸化剤から離して保管する。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料：

別の容器に差し替えるときは、金属又はガラス容器を使用すること。
樹脂容器は種類により、溶解することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 未設定

許容濃度(ばく露限界、生物学的ばく露指標)

・トリエタノールアミン

日本産衛学会： 未設定

ACGIH(2013 年度版)： TWA 5mg/m³

・製品に鉱油が配合されている場合

日本産衛学会(2013 年度版)： 3mg/m³ (鉱油ミスト)1)

ACGIH(2013 年度版)： TWA 5mg/m³ (鉱油ミスト)2)、

設備対策： ミストおよび蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。
取扱場所近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具：

呼吸用保護具 呼吸器刺激や不快感があるときは着用する。(防塵フィルター付き有機ガス用)

手の保護具 長時間、何度も繰り返し使用する可能性があるときは着用する。
(ポリエチレン、エチルビニルアルコールラミネート製手袋)

眼の保護具 (安全メガネ)

皮膚及び身体の保護具 長時間、何度も繰り返し使用する可能性があるときは着用する。
(耐薬性のある「トリエタノールアミン」保護衣、長靴、エプロン)

9. 物理的及び化学的性質

形状： 液体

色： 淡赤色透明

臭い： 弱いアミン臭

PH： 9.1(原液) / 8.9(水希釈で40倍)

引火点:	なし
可燃性:	なし
爆発特性:	爆発限界 データなし
蒸気密度:	データなし
比重(密度)cm ³ (15°C):	1.05(原液) / 1.01(水希釈で40倍)
溶解性:	水に対し可溶

10.安定性及び反応性

安定性:	常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性:	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件:	混触危険物質との接触。
混触危険物質:	強酸化材、酸類、酸を含む物質との接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物:	燃焼の際は煙、一酸化炭素、二酸化炭素、硫酸ガス等が生成される。
その他:	必ず濃度管理を行い使用すること。

11.有害性情報

急性毒性	
経口:	有用な情報なし。
経皮:	有用な情報なし。
吸入:	有用な情報なし。
皮膚腐食性/刺激性:	配合成分の区分を基に、混合物として区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	配合成分の区分を基に、混合物として区分2Aとした。
呼吸器感受性:	有用な情報なし。
皮膚感受性:	配合成分の区分を基に、混合物として区分1とした。
生殖細胞変異原性:	有用な情報なし。
発がん性:	有用な情報なし。
生殖毒性:	有用な情報なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	配合成分の区分を基に、混合物として区分3(気道刺激性)とした
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	有用な情報なし。
誤えん有害性:	有用な情報なし。

12.環境影響情報

水性環境有害性 短期(急性):	配合成分の区分を基に、混合物として分類できないとした。
水性環境有害性 長期(慢性):	配合成分の区分を基に、混合物として分類できないとした。
生態毒性:	現在のところ有用な情報なし
残留性分解性:	情報なし
生体蓄積性:	情報なし
土壤中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし
他の有害影響:	情報なし
環境基準:	情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物： 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 投棄禁止。

汚染容器及び包装： 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

14.輸送上の注意

国際規制

国連分類： 該当しない

国内規制

陸上：消防法 非危険物

海上：船舶安全法 非危険物

航空：航空法 非危険物

特別の安全対策： 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積込、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15.適用法令

化学物質管理促進法	第一種指定化学物質	非該当	
	第二種指定化学物質	非該当	
労働安全衛生法	表示対象物質	トリエタノールアミン	20% CAS 番号 102-71-6
	通知対象物質	トリエタノールアミン	20% CAS 番号 102-71-6
毒物及び劇物取締法：	非該当		
消防法：	非危険物		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：	産業廃棄物規制(拡散、排出の禁止)		

16.その他の情報

参考資料

許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果 原材料SDS
GHS 混合物分類判定システム

免責文

- (1)危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意してください。
- (2)この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
- (3)本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- (4)ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。